

レベル判断に関する「指標」及び「事象」の現状について

資料 2-2

「新レベル分類」における レベル判断に関する「指標」及び「事象」		現在の状況
指標	①確保病床利用率	61.5% (11/29現在)
	②重症病床用確保病床利用率	29.1% (11/29現在)
事象	保健医療に関する事象の 状況に関する事象の <ul style="list-style-type: none"> ①発熱外来患者の増加 ②救急外来患者の増加 ③入院医療の負荷が増大 ④重点医療機関における医療従事者の欠勤者の増加 ⑤自宅や施設内療養中の死亡者の発生 	①②コロナ患者の増加やワクチン接種の対応で業務が増加しているとともに、職員の感染などもあり、医療機関の負担が増加している状況。 ③満床状態で入院受入が困難であり、院内クラスターや看護スタッフ等の感染により増床も困難な状況である。受入を増やす場合は、通常の定期手術や救急などを制限する必要がある。 ④多くの病院で院内クラスターが発生しており、看護師をはじめスタッフが不足している。病院によってはスタッフ不足により病床を削減するなど、綱渡りの状況である。 ⑤11月の自宅療養中の死亡者が6人（10月:0人）、高齢者施設内療養中の死亡者が15人（10月:5人）。（11/29現在 いずれも仙台市を除く）
	<ul style="list-style-type: none"> ⑥救急搬送困難事案の増加 ⑦救急車を要請されても対応できない事案の発生 	仙台市消防局における搬送困難事案のうちコロナ疑い事案について、11月第2週19件、第3週30件、第4週47件と増加傾向にある。 （総務省消防庁：各消防本部からの救急搬送困難事案に係る状況調査（抽出））
	社会経済活動の状況に関する事象	⑧職場等での欠勤者の増加 職場における欠勤者は増加傾向にあるものの、業務継続が困難になる事業者が多数発生するような状況には至っていない。（企業等への聞き取りや県庁職員の自宅待機状況による）
	感染状況に関する事象	⑨感染者数の増加 過去1週間（11/23～11/29）の新規陽性者数は23,568人で、前の週（11/16～11/22）の20,267人より3,301人、約16%増加している。